

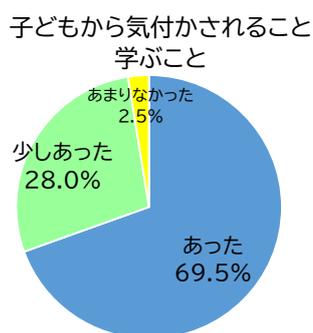
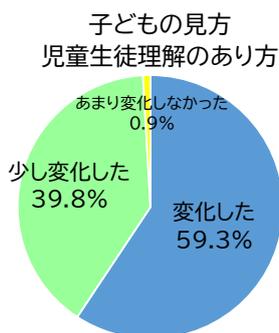
子どもの声を生かした 明日も通いたくなる学校づくり

～ 自己有用感・自己効力感に裏付けられた自尊感情を育む教育活動の展開 ～

すべての子どもが、「自分のよさ」を生かした「将来の夢・志」に向かって、仲間を大切にしながら、自分の力を伸ばしていくことのできる、「明日も通いたくなる学校づくり」について、一緒に考えてみましょう！



開発的な生徒指導を組織的に進めると 教職員の意識にはどのような変化が見られるの？



令和3年度夢プロ指定校の先生方に、「この事業に取り組むようになって、教師としての見方や考え方に変化があったかどうか」お聞きしました。

開発的な生徒指導を組織で揃えて実施することで、経験年数にかかわらず、新たな気付きや変化を感じられている方が多くいらっしゃいました。

調査対象 10 校(抽出 118 人)



《記述より》

- ・ 常に「生徒自身がどう考えるか、どう思うか、どうしたか」を意識して取組を進めるようになった。
- ・ 生徒のもつ可能性や、生徒に任せることの大切さを学ぶことができた。
- ・ 学校全体で取り組んだことで、子どもたちがよりよい内容にしようと考え、発言できるようになってきた。
- ・ 目立たないが、まじめに取り組んでいる生徒に目が向くようになった。

- ・ 失敗をさせないようにという教師の思いは、配慮ではなく、子どもたちの可能性や意欲を失わせていたのかもしれないことに気付かされた。
- ・ 生徒への声かけとして、小さな気付きについても1対1で話したり、クラス全体に投げかけたりすることなど、多く取り入れるようになった。
- ・ 児童の背景等を意識した声かけを心がけるとともに、よさを認め励ますことを中心にする指導の在り方を共通理解することで、組織的に実践できるようになった。

学級経営・学年経営

ベクトルを揃えて「未然防止」

しかけのテーマは
「憧れてもらえる先輩になるため」

高知市立
城北中学校

- 4月 対面式
- 5月 授業の受け方を見学
- 6月 生徒総会



1年生が2年生の授業の受け方を見学(10分間)



- 9月 体育祭
- 10月 合唱祭
- 12月 小学生一日体験入学

- 1月 後輩に語る
- 2月 高校生から学ぶ
- 3月 卒業式

クラスに戻って、授業の様子や感じたことを共有する



みんなで「目指す授業像(学びの姿)」を話し合い、授業における目標をつくる

切り替えの早いところや、真剣に授業を受けているところも、尊敬できるよ。

みんなで楽しみながら、助け合いながら取り組んでいて、さすがだね。

1年便り

仲間を大切に
～ともにステップアップ～

先輩の授業から学ぶ

自分たちの日々の授業を振り返り、今後の授業をさらに充実させるためのモデルとして、2年生の授業をみせていただきました。先輩の授業から「中学校の授業がどうなのか」を学び、自分たちの良さにも気付いた有難い時間となりました。

各学級で3グループ(2年生3クラス)に分かれ、10分間の授業見学をした後、それぞれの授業の様子や感じたことを話し合い、共有しました。そして、みんなの意見から「目指す授業像」を話し合い、これからの授業における目標づくりを行いました。

「学年便り」の発行
保護者への発信と生徒への価値付けを意識して、授業や取組の様子、生徒の振り返りを載せるようにしています。

思いや考えを安心して言えるには

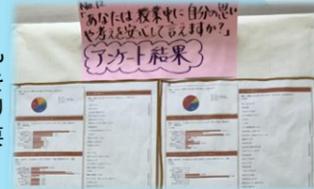
「周りの反応」と「自分に自信」

南国市立
鷹ヶ池中学校



「授業中に、自分の思いや考えを安心して言えますか?」の項目で、「どちらかといえば…」と答えている子どもたちが、どうすれば「そう思う」と言い切れるようになるのか、考えて取り組んできました。次の手を考えるために、子どもたちの意見を聞いてみようということになりました。

9月にアンケートを実施した結果、子どもたちが「授業中に自分の思いや考えを安心して言えるようになるには、「周りの反応」と「自分の答えに自信」が必要だということが分かりました。



9月アンケート結果を掲示

全ての子どもが参加できる、学習や取組になっていますか?

子どもたちがアイデアや思いを生かせる場や機会はありますか?



ストーリー性のあるしかけで、子どもの心にアプローチしていますか?

目的や意義を、教職員や子どもたちと共通理解していますか?

行事と生活を、効果的につなげていますか?

子どもたちを信じて要求し、期待し、任せていますか?

共感的に寄り添い、認めたり、励ましたりしていますか?

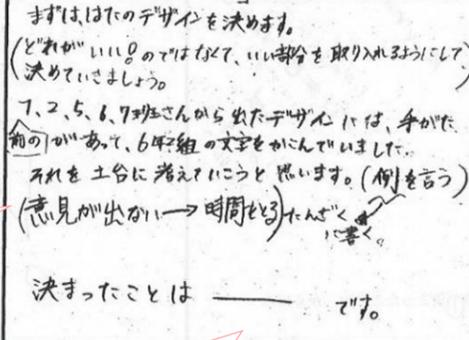
学級活動(1)は
みんなでやることを自分たちで決めて実行する

香南市立
野市小学校

計画委員会(司会グループ)が、当日の話合いの見直しをもつために、進め方(つまりきへの対処を含む)をシュミレーションし、台本を作成しています。(3年生以上)

自分たちでつくと、困りそうところも確認しているので、融通が利く!

子どもたちに質問すると、司会マニュアル(教師作成の台本)よりも、「自分たちでつくる台本がいい」と一斉に答えました。



台本メモの一部 (6年生)

慣れたら台本はあまりいらさないし、全部は大変でも一部なら書ける。

児童会活動・生徒会活動

自分たちの学校は自分たちでつくる

専門委員会を再編
拡大執行部会を発足!

黒潮町立
大方中学校

構成メンバー

生徒会執行部
(生徒会長・副会長・書記・会計)

専門委員長
(放送・保健・図書・学習・防災)

代議員長(各学年1名)

取組を決めて、2週間実施



良くなった気はするが、どれくらい良くなったのか把握できないから、全体に結果を返すづらい。

取組を改善し、2週間実施

「あいさつ」が、最近十分にできていないと感じる。改善する方法を、検討してはどうか?



教師が行うよりも時間がかかるが、子どもたちが話し合いを重ねながら、自分たちで解決する過程を大切にしています。

3学期に、児童生徒アンケートの結果を共有してみると...

もっと高いかと...、みんないろいろしゅうのに、何でやろうねえ?

子どもにも、感覚とのズレがありました。4月から一緒に考えて、取り組んでいく予定です。



学級会形式の代表委員会
学校をもっとよくするには?

四万十市立
具同小学校



これまでは、報告会になっていたよね?

クラスの学級会のように話し合ってみよう!

議題「みんなで仲良くするための活動を考えよう」



直後の振り返りに立候補



助けてもらった、「ありがとう!」って言うよ!

仲良くなるためのルール

「がんばらせる」から
「がんばりたい」と思えるようにする意思決定に

安芸市立
川北小学校

「自分は今、どれくらい頑張っているかな?」自分と向き合い、少し成長するための方法や目標を決めて取り組む、学級活動(2)と学級活動(3)。

「頑張ろう」、「何とかしなくちゃ」と思えるようにするためには、**授業の導入**がカギになります。アンケート結果から、「思っていた結果と違う!」という気付きを引き出したり、映像や写真から客観的に課題をつかんだりできるような授業づくりの工夫を進めています。



課題をつかむためのビデオ視聴(自分たちの言動を振り返っています)

6年生がアドバイス
ピアサポートへの発展

南国市立
後免野田小学校

下級生の学級会の準備に、6年生が参加してくれています。学級会ノートの書き方を教えたり、フロア役をしながらアドバイスをしたり、上手にサポートしてくれています。

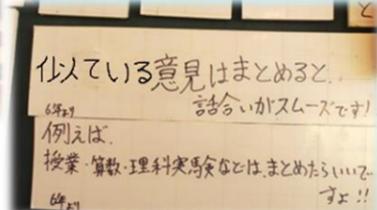


ノートづくりのポイントを伝授



〇〇が心配です。運動が苦手な人がいるからです。

フロアの役をしながらアドバイス



意見ボードに、ヒントを残してくれています。自分たちの経験を生かして、具体的なアドバイスができました!

安定と活力をつくる 学級活動の充実

学級会を変えることで学校を変える！



QRコード(二次元バーコード)で、詳しい資料にアクセスできます。



生徒の主体性をのばすための学級会にするために、全校で揃えてきたこと…

- ★学級会スタンダード
- ★連続性をもたせた議題
- ★ドリームアンケート
- ★学級会シート
- ★ドリームボード (意見を掲示する短冊形ホワイトボード) 等

揃えることで、
学級担任の
負担軽減にも！



自分たちの力で「学級や学校をより良いものになっている」という実感を持てるような工夫に！



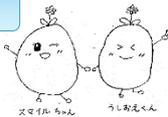
令和3年12月 公開授業研修会「3年生 生徒発表」より抜粋

今年の体育祭も、新型コロナウイルスの影響で短縮開催の予定でした。そんな中、クラスの仲間や生徒会の提案で「体育祭を終日開催にしたい。」という計画が持ち上がりました。感染リスクを減らす対策など、何度も何度も先生方との話し合いをもちました。その熱意を先生方に汲み取っていただき、終日開催とはいきませんでした。午後には部活動リレーを行えることになり、私達の思いがしっかりと詰まった体育祭になりました。

部活動リレーの後、着替えをせずに行った閉会式では、各部活動のユニフォームで彩られ、私達が作り上げられた体育祭だからこそ見ることができた景色だと思います。そんな経験から、私達は自分達のもっているパワーの出し方や使い方を学ぶことができました。ルールをしっかりと守り、みんなで最大限楽しむことの充実感を知りました。私は、この仲間が大好きです。この仲間と窪川中学校で出会えて本当に良かったと思います。

みんなでさかそう！ うしおえスマイル!!

基本理念 「自分への信頼」を育む学校



美点凝視

よさ(努力・成長・美質)を認める
価値づけ、意味づけ、励ます

行動原則

規範・規律は教えて徹底する

聞く・あいさつ・廊下を歩く+学習規律

教師は黒子！ 子どもたちがつなぐ、小中連携



中学校体験入学
今年度までは、その小学校の卒業生である3年生が、校内を案内してくれました。令和4年度からは、2年生の有志が案内役をしてくれる予定です。

6年生にアンケートを実施

- 小学校と違って不安なこと
- 入学したら楽しみにしている事 等

リモート交流で質問や不安に回答！

中学1年生が、出身校の6年生に答えます。



中学校に入学したら、新しい学級で話し合っレクをします！
どんなレクがよいか、今から考えておいてくださいね！

同じ視点でほめる・認める、期間を決めて取り組む

場面	① あったか言葉	② 聴き方あいうえお	③ 3つの当たり前(そろえる・無言排除・廊下を歩く)
登校	○挨拶をする姿の価値づけをする 強化する		○あいさつをする 匿名名刺をつけて
朝の会 健康観察		○週の初め等に意識づけをする	
授業中	○教師が多様性を認める ○ほめ言葉のシャワー、拍手 「～さんと同じで」 「～とちがって」 「なるほど」	○聴き方がよくなってきている子を見つけて、評価する(価値づけ) 授業中だけでなく他の活動でも行う！	話している人の方を見て聴いている 終わりまで聴く できていない時は互いに注意する

取組を振り返り、次の手立てに生かす

- ◎子どもが何気なく言った「あったか言葉」を繰り返し、価値づけた。
- ◎校長先生がほめてくれた言葉を子どもたちに伝えている。
- ◎掃除で「よい」と思う姿の児童には、サインを送ったり、近くで小声で評価したりした。



具体的な場面を
低・中・高学年
に分かれて共有

【小中のりしらの取組※ポイント】

- ・6年生の「声」をきっかけに取組を進める。
- ・中学生からのメッセージによる不安軽減の取組。
- ・小中の計画的な連携・取組。
- ・生徒主体のレク企画・運営。
(生徒が「自分達でやった」と実感できるよう、教師は黒子に徹する。)

「明日ここで学びたい 魅力ある学校づくり」 令和4年3月 香美市教育委員会一フレットより

※中学校入学への不安な思いを軽減し、変化を緩やかにするような取組を「のりしろ」という呼び方で進めています。

*** 作成協力 ***

夢・志を育む学級運営のための実践研究事業：安芸市(拠点校 川北小学校)、四万十町(拠点校 窪川中学校)、香南市立野市小学校、南国市立後免野田小学校

学校活性化・安定化実践研究事業：南国市立鷹ヶ池中学校、黒潮町立大方中学校、四万十市立具同小学校、高知市立城北中学校、高知市立潮江小学校

魅力ある学校づくり調査研究事業：香美市(モデル校 鏡野中学校)

教育委員会：安芸市教育委員会、香南市教育委員会、香美市教育委員会、南国市教育委員会、四万十町教育委員会、四万十市教育委員会、黒潮町教育委員会、高知市教育委員会